

講義コード	11C0125706	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	小沢 奈美恵	開講期	通年
科目名	ゼミナール I (小沢)								
履修前提条件					備考				
授業の目的	このゼミナールは、主として映画などの映像文化からアメリカ文化や社会を学び、同時に英語力もつけることを目標とする。前半は教科書を読みながら、映画の背景としてアメリカの歴史、政治、人種、宗教、移民問題など幅広い視点から学んでいく。後半はグループごとに一つの映画を選び、英語表現や文化的背景についてパワーポイントを用いて発表を行う。また、年間を通じて、新聞を利用し、アメリカが直面する諸問題を考察し、発表や討論も行う。最後に討論しながら、次年度にゼミ大会で発表する論文テーマを決定する。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画、ニュースを通じて、アメリカの歴史の概略、アメリカ現代社会の諸問題などを理解でき、またそれらについて批評的な考えを述べるができる。 2. 映画で使われている英語に関して、基礎的、日常的な表現が聞き取れ、理解できるようになり、場面を英語で説明できるようになる。 3. アメリカの問題について、簡単に英語で意見を述べられる。 								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>この科目では、120時間以上の授業外学修を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関連した本を数冊読むことが求められる。ブックレポートの提出も義務付けられている。 2. 英語の教科書でもアメリカの文化を読み、発表してもらったり、英語の質問に英語で答えたり、英語で要約やコメントを述べたり、簡単な討論をするなどの練習に備えて準備する。 2. 本以外にも、雑誌、ニュース、メディアを通じてテーマに関連した資料を読み、内容を要約したり、批評的に考えて意見をまとめ、発表する。 								
授業計画	<p>【第1回】授業の留意点などを説明したのち、自己紹介や、役割分担を行う。</p> <p>【第2回】～【第15回】映画を通してその背景としてのアメリカ社会、歴史、文化などを学ぶ。シナリオも読んだり、聞き取りを行ったりする。歴史、政治、人種、宗教、移民問題、国際関係など現代アメリカの諸問題などについて、グループごとの発表や討論を行う。『ボカホントス』『グローリー』『フリーダム・ライタース』『目撃者』『ボウリング・フォー・コロンバイン』『アメリカン・スナイパー』『ウォール街』などの映画やドキュメンタリーフィルムを扱う予定である。夏休みにはブックレポートの課題を行い、合宿で発表する。</p> <p>【第16回】～【第29回】いくつかのグループに別れて、自由に映画を選び、調査し、前期に学んだことを踏まえて発表を行う。ハンドアウトやパワーポイントを発表用に準備し、一回の授業で一グループが発表し、討論を行う。</p> <p>【第30回】各グループで、これまで学習した内容を踏まえて、3年でのゼミ大会のテーマ案を作成し、発表する。研究する価値があり、参考資料などの多いものを、最終的に1つか2つに絞り決定する。2回目のブックレポートも提出する。</p>								
成績評価の方法	授業での発表・参加態度（70%）、レポート（30%）								
フィードバックの内容									
教科書	『アメリカの過去・現在・未来を読む America in Motion』 Gary Dendo (成美堂) 2010年								
指定図書	『概説アメリカ文化史』 笹田文化史直人 / 堀真理子 / 外岡尚美編著 (ミネルヴァ書房) 2002年、『アメリカ黒人の歴史』 本田創造 (岩波書店) 1991年、『そうだったのか！アメリカ』 池上彰 (集英社) 2005年、『9.11とアメリカ』 越智道雄監修 小澤奈美恵・塩谷幸子編集 (鳳書房) 2008年、『映画で読み解く現代アメリカ：オバマの時代』 越智道雄監修 小澤奈美恵・塩谷幸子編集 (明石書店) 2015年								
参考書									
教員からのお知らせ	連絡は e-mail や Line などでも頻繁に取り合います。また必要に応じてアポイントを取って、研究室を訪ねてください。								
オフィスアワー	金曜 2 時限のオフィスアワーに研究室を訪ねてください。								
その他									